Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

人類に奉仕するロータリー

2016～2017 年度
国際ロータリーのテーマ

◆例会日/週火曜日　12:30～13:30　◆例会場/小諸市鶴巻　音羽
◆事務局/〒384-0025　長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
◆会　長　/　掛川　興太郎　◆副　会　長　/　小池　平一郎
◆幹　事　/　矢島　栄一　◆ｸﾗﾌﾞ広報･情報委員長　/　中河　邦忠

NO. 1332　平成28年8月30日

◆点鐘	掛川興太郎　会長
◆SAA	小林　秋生　委員
◆ｿﾝｸﾞ	それでこそロータリー
◆ｹﾞｽﾄ	高見澤敏光様 （東信第一グループガバナー補佐）
◆ﾋﾞｼﾞﾀｰ	黒澤　一雄君（千曲川RC） 藤林　豊明君（横浜鶴見北RC）

【会長挨拶】　掛川興太郎 会長

皆さん、こんにちは。

本日はまず来訪者の御紹介を致します。東信第一グループガバナー補佐の高見沢敏光さんと幹事の黒沢一雄さんが事前訪問ということでお見えになられました。改めて歓迎申し上げたいと思います。

さて、本日は、この後のクラブ協議会の中で、クラブ運営について、また、クラブの基盤維持についての問題点、会員増強など、重要な活動について御指導を戴くわけですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。先ほど高見沢ガバナー補佐さん黒沢幹事さんを交えて、私、会長と、矢島幹事と一緒に話し合いを持たせて頂きました。どこのクラブでもクラブ基盤の維持増強という問題が、やはり重大な悩みになっているわけであります。クラブの活性化とは、よく考えてみれば誰でも同じ答えにたどりつくように思います。ある意味、女性会員や若い会員が例会の雰囲気を大きく変えてくれると思いますし、程よい緊張感が生まれてくるように思います。例会での卓話も奉仕活動も新鮮になり、クラブ活動にも活力がでてくると思います。会員を増やす、具体的な方法は、私ども、会長、幹事、会員増強委員長をはじめ全員の危機意識の共有にあるように思います。皆さんはいかがでしょうか。ロータリーとは、社会に奉仕するため、「お金を出し合う人達の団体であると」言うような解釈が、先走っているように思います。8月27日松本大学で行われた財団地区セミナーに出席し、そんな感想を持ちました。ロータリーの理念やロータリーの魅力をアピールする良い方法を、みんなで考え、話し合いたいと思います。例えば、会員の候補者を例会に無料で招待する等、考えれば色々有るだろうとおもいます。その意味では、親睦の機会を意識的に作る必要があるように思いますが、皆さんの意見もお聞きし、このあとの協議会で話し合いたいとおもいますので宜しくおねがいいたします。

【幹事報告】 矢島　栄一　幹事

1. 原拓男ガバナーより公式訪問について
　日時　9 月 13 日（火）
　　会長幹事懇談会　11:30～12:10
　　例会　12:30～13:30
2. 例会変更
　佐久コスモスRC　9 月 12 日（月）　定刻受付あり
　　9 月 19 日（月）　定刻受付なし
　佐久RC　9 月 22 日（木）　定刻受付なし

【本日の配布物】
週報 1331号

◆出席報告　湯本　敏晴　委員

会員数21名　出席義務者20名　免除者1名

本　日	出　席	16名	
	事前 MU	0名	80. 00%
前々回（8/9 ）	MU	3名	78. 95%

◆ラッキー賞

NO　14　湯本　敏晴君

次週のプログラム：　9月6日
「ロータリーの友」月間
クラブ広報・情報委員会
次々週のプログラム：　9月13日
「ガバナー公式訪問」
国際ロータリー第2600地区
原　拓男ガバナー

◆ニコBOX　　橋詰　希望 委員長

橋詰　希望君	高見澤ガバナー補佐、黒澤様本日はお世話になります。藤林様ニコボックス有難うございます。息子が新築し、明日引越です。
前田　博志君	ガバナー補佐、今日はありがとう
渡辺　頼雄君	高見澤さん、黒澤さん、藤林さん、ご歓迎申し上げます。
矢島　栄一君	高見澤ガバナー補佐、本日は宜しくご指導をお願いします。
黒澤　明男君	高見澤ガバナー補佐、有難うございます。

掛川興太郎君	高見澤さん、黒澤さん、藤林さん、ようこそいらっしゃいました。
湯本　敏晴君	職業奉仕の為、早退します。ラッキー賞、有難うございました。
高見澤敏光君	本日は宜しくお願い致します。
藤林　豊明君	国際ロータリー第 2590 地区、横浜川崎地区から参りました。例会に出席させて頂き、誠に有難うございます。家内と旅行中に寄らせて頂きました。

◆【本日のプログラム】　「ガバナー補佐事前訪問」

国際ロータリー第 2600 地区　東信第一グループガバナー補佐　　高見澤　敏光様

- 本日は随行者として黒澤一雄千曲川RC幹事が同席しております。
- 寄り道しながら勢力を強めてきた台風10号、進路が長野県からは外れましたが大雨による被害が心配されます。
- リオ・オリンピックも活躍した日本選手が胸を張って帰ってきました。多くの感動した瞬間が沢山ありました。私も高校時代柔道部に一時籍をおいていましたが、現在の柔道の試合は私たちの1本制から点数制に変わり、非常に戦いにくいと思います。その中で残り時間30秒・15秒で逆転し、メダルを獲得されたことは最後まであきらめず常にチャンスを待ち、少しのチャンスを見事に生かして勝利に結びつけた姿に感動しました。めまぐるしく変わる社会環境の中で、ややもすると嫌なことから逃げたり、すぐに諦めたりして大切な瞬間を逃してしまったりするなど、私たちの日常生活の生き様や企業活動に警鐘を与えてくれたような気がいたしました。**そのリオ・オリンピックは五輪旗が東京に渡され閉幕いたしました。私のガバナー補佐の事実上の任務は、まさに始まったばかりであり大いに緊張した毎日を送っています。**
- 小諸浅間ロータリークラブのご出席されている皆さんは、地域や企業・団体などで素晴らしい活躍をされておられる皆さんばかりで、緊張度がさらに増しています。
- ただ、私は小商で学び・小諸市内で遊んできました。小諸は第二の故郷であります。今まで色々な場面でお行き会いしたり、小商同窓の先輩の皆さんもおられるほか、黒澤明男会員は私と同郷の佐久穂町出身の方もおり、少しばかりほっとしているところです。
- 本日は与えられた時間内で少しでも原ガバナーが、原年度に掲げたお考え等をお伝えできればと思っております。
- 先週の27日、松本大学で開催されました「米山奨学地区セミナー」「R財団地区セミナー」には掛川会長さんら、ご関係の皆さんにご参加いただきご苦労様でした。午前の米山奨学地区セミナー」で、よねやま親善大使の「ウ・ネイ」さんの講演は、少なくとも私が今までイメージしていた奨学生の出身環境や、卒業後のRとのかかわり、立ち振舞いを180°変えるものであり、本当に感動いたしました。
- 先程、掛川会長・矢島幹事さんと事前に説明を受けさせていただきました。そのお話の中やクラブ計画書を通じて感じたことは、失礼ながら決して会員が多いクラブとは言えない中で、積極果敢に事業を進められていることに感銘いたしたところです。クラブ計画書を通じても計り知れることは、とても丁寧にまじめに取り組みなさっていることが伺えました。更に、会長さんを先頭に、小諸浅間RCの現状の課題をしっかり把握されたうえで、今後に向けてのクラブのあり方を、真剣にお考えになられ行動に移されておられることに感銘いたしています。

東信第１グループ・クラブ設立年月日

① 小諸 RC　　63・10・1（S38 年）⇐ 上田（59・11・2）
② 軽井沢 RC　 64・9. 14（S39 年）⇐ 長野（62・8・1）
③ 南佐久 RC　 75・6・24（S50 年）⇐ 小諸
④ 佐久 RC　　78・5・26（S53 年）⇐ 小諸
⑤ 千曲川 RC　 87・4・22（S62 年）⇐ 南佐久
⑥ 小諸浅間 RC　88・3・1（S63 年）　⇐ 小諸
⑦ 蓼科 RC　　91・5・18（H3 年）⇐ 丸子（63・8・28）
⑧ 佐久コスモス　91・5・22（H3 年）⇐ 佐久

1　私と職業

- S36 年（1961）、小諸商業高校卒業、高見澤電気東京工場に勤務
- S36 年 8 月、家業に従事
- S50 年（1975）、嶋屋義吉商店から嶋屋住設株式会社設立
- H2 年（1990）、佐久町議会議員に就任
- H15 年（2003）長野県議会議員に就任
- H26 年（2014）相談役から会長に就任
- H28 年（2016）高野町 3 区区長・高野町総区長・佐久穂町区長会長

2　私とロータリー

- S61.年（1985）頃、八十二銀行小海支店長・長谷川徹（小商先輩）
  千曲川 RC 立ち上げの準備会員として協力を依頼。
- H14 年（2002）、千曲川 RC15 周年記念祝賀会の際入会。（14年目）
- H15 年（2003）、長野県議会議員就任～H23 年退任まで、8 年間ほとんど例会の参加はできなかった。
- H26 年（2014）千曲川 RC 会長、品田前ガバナー補佐から千曲川 RC で来年度ガバナー補佐を受けて頂きたい旨養成あり。
- 頭の中で描いていた補佐候補者が次々と断られた。地区への報告締め切りが過ぎた 12 月？頃、仕方なく私の名前を挙げておいてくれと報告。
- ガバナー補佐を務めるのに重要な次期ガバナー補佐研修会等に、一身上の都合で参加できないまま不安を抱え任務がスタートしています。
- こんな言い訳のようなことを冒頭にお話しすると、先輩ガバナー補佐や先輩ロータリアンの皆さんから、不届きものとお叱り頂くかもしれません。
- こんな状況下でガバナー補佐をお受けしましたことを、お許しいただきたいと思います。
- しかしながら、今年度の RI 会長は「人類に奉仕するロータリー」とテーマを掲げました。改めて原点に立ち返り「奉仕」を念頭におき、ガバナー補佐としての任務とRC活動を進めていきたいと思います。

3　原ガバナーの方針

原ガバナーは地区の標語を「Basic and　New」『原点に返り新たな改革を』とされました。2600地区のみならず日本のロータリークラブの現況を見たとき、まさに「原点」に戻るに尽きると思います。そしてロータリークラブにとって、新たな将来に向けた改革が求められているのではないかと思います。

また、「長所を認め合い、絆を深めよう」と行動方針を示されています。特に今期はロータリー財団設立100周年の記念すべき年として、財団の理解を深めて頂くとともに財団への寄付額の増額を目指されております。原ガバナーは単なる寄付額の増額を強要されているのではありません。その出口としての補助金の積極的利用を図り、いろいろな奉仕活動の実践を願っておられます。

①　優先項目

既に、地区プログラムや各セミナー等に参加され、ご承知かと思いますが、原ガバナーは目標を達成するために、優先項目を挙げて実践に取り組みたいとお考えを示されています。

優先項目１：クラブのサポートと強化

組織の維持というよりも奉仕を実現するためには、やはり会員の増強が必要
です。（日本：人口減少問題・人口減少により地域（コミニュティー）や産業経済の崩壊）
目標1～目標4に掲げているように、会員の増強のための行動指針が優先項目の第1として挙げています。

優先項目２：人道的奉仕の重点化と増加

目標5～9と5項目を挙げ、ロータリーの最大なテーマであります「永久にポリオを撲滅する」こと。そのための財団への寄付の拠出を高めることとしております。（後程、継続事業の中で説明を）

優先項目３：公共イメージと認知度の向上

目標10～11の2項目には、ロータリーが実践してきたこと、今実践している「よいこと・功績」を、ロータリアン自らを含め、多くの人々に知らしめていくことを求めておられます。
「よいこと」を実践して、自己満足だけでよいと言う時代背景でなく、積極的に「知ってもらう努力」も必要な時代となっています。➡掛川会長・計画書

②　重点事業

これらの優先項目を軸に、更に重点事業を3つ掲げています。

イ　「会員増強」は、各グループ純増10名の会員増強をめざす

2600地区の会員を2000名確保に近づけることを最大の問題点であるととらえています。
会員増強のために、ロータリーが何に取り組んでいるのか、ロータリーが果たしている役割を多くの人々に知ってもらうことが極めて重要であり、それらを地域社会に積極的に情報発信していくことの実践を求めております。

ロータリーの功績を知る人が増えれば、パートナー団体や資金、そして会員憎につながるとしています。東信第一グループは8クラブですので、一クラブあたり1～2人の純増をお願いしたい。《2名の会員増強を目標とされている》

ロ 「CLP」の運用によるクラブの強化

「CLP」の最大の目的は、クラブを長期的にいかに発展させ、活性化を図っていくかということですが、CLPはクラブ組織と活動の単なる簡略化ということではありません。クラブ組織と活動を簡略化しますと、クラブはむしろ衰退へ向かう危険性があります。会員の維持と新会員の勧誘を図り、クラブを更に発展させて行くためには、クラブ自体を魅力ある、生き生きとしたクラブへと絶えず変えて行く努力が必要なのです。まさに「CLP」：長期計画の立案・将来の指導者の育成・親睦を深めるための機会の提供こそが、クラブの活性化につながること、と言うことになります。

ハ 「職業奉仕」の見える化

ロータリーは職業分類を基本としている様々な職業の会員が在籍しています。現在では多くのクラブで実践されていますが、会員が小学校・中学校・高校に出向き、自分の職業に関する話を行い、ロータリーを知ってもらい、将来の会員につながるよう出前講座などを実践していこう、とすることです。

③ 継続事業

イ 青少年育成事業への支援

この事業に支援は重点事業とするものの、事業内容の見直しもしながら、
継続するとしております。（完全な見直しではなく、見直しもありうる）

ロ ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付

特に今年度はロータリー財団設立100周年の記念すべき年です。
原ガバナーは、ロータリーと財団は車の両輪であることを強調されており、財団100周年を記念して、ロータリー財団年次寄付へ一人150ドル、ポリオ撲滅へ一人40ドル、平和センターへ一人10ドルの合計200ドル(単純に1ドル100円とすれば一人20000円)を目指すお考えを強くお持ちになられておられます。

また、年次基金寄付0クラブ（当グループは該当なし）、寄付履歴から寄付額0のロータリアンを0にお願いしたい。たとえ一口2000円でもいくらでもよいから、全員のロータリアンが寄付実績をお願いしたい。（特にガバナーを出しているグループとしてぜひお願いしたい。）

私からも重ねて、原ガバナーの行動目標の中で最も強調されておられる事業の一つであることを、重ねてお伝えさせていただきます。

以上，原ガバナー年度の地区方針及び行動目標等のなかで、当地区の最大の問題点として特に思いを強く持たれている、「会員の増強」、クラブの長期計画など「CLP」の運用によるクラブの強化、ロータリーを知ってもらうための「職業奉仕」の見える化と、三つの重点事業の概略をお伝えさせていただきました。

4 当面の事業予定

◎ 10月15日(土)・16日(日) 軽井沢プリンスホテル・ウエストで、《2016の出会いと絆》を大会テーマとして、《地区大会》が開催されます。記念講演は、講師に経済アナリストとしてご活躍されている森永卓郎氏をお招きし、「日本の未来を明るくするヒント」を演題でお願いすることとしています。

原ガバナーを送り出している東信第一グループの地元であります、軽井沢ロータリークラブがホストとして開催されますので、大勢のご参加をお願い致します。

◎ 9月13日（火）は原ガバナーの「ガバナー訪問日」となります。ネクタイ着用でお迎え頂きたい。

当面の事業予定のご案内、は以上ですが、お伝えさせて頂きました原ガバナーの方針と重点事業にそって、各クラブの事業が円滑に進んでいかれ、少しでも実践に結び付けられますよう、ガバナー補佐としての役目を果たしてまいりたいと思います。

小諸浅間RCにおかれましても、2600地区及び東信第1グループの事業に、更なるご協力をお願いいたします。と同時に、本年度が充実した掛川年度となりますことをご期待申し上げます。

「クラブ協議会」